



国際ロータリー第2500地区第3分區

Asahikawa Morning Rotary Club

# 旭川モーニングロータリークラブ 会報



ホームページ <http://www.asahikawamrc.com/>

第1099回 例会 № 13

10月の月間 テーマ **経済と地域社会の発展月間・米山月間**

平成28年10月13日（木） AM7:30~8:30

本日の例会プログラム ゲストスピーチ

場所 アートホテルズ 2F ローアン



## 会長の時間 例会出席とメイクアップ 河崎 高麗男

米山梅吉翁は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っております。ロータリーライフにおける親睦の第一歩は、まず**毎週必ず例会に出席**することから始まります。現在、

- ①ホームクラブに半期30%以上出席
- ②メイクアップを含めて半期50%以上出席
- ③**連続4回以上欠席**してはならないと規定されています。

この規約は、会員身分を保障するための最低条件に過ぎません。ちなみに、連続4回以上欠席すると自動的に**会員資格を喪失**するという規定は、1905年3月23日、ロータリーが発足してからわずか3回目の例会で決められたものです。メイクアップ制度ができたのは、ずっと後の1922年です。例会出席は、友情の証であり、四回も続けて休むような薄情な人に真の友情を期待することは不可能だとして、即、退会という結論が出たのです。

なぜロータリーは例会を強調するのでしょうか、クラブ奉仕部門の補助文献324号にそのことが記載されていますので紹介いたします。

1. ロータリーの原則であるところの知り合うこと親睦とは、クラブの例会に常に出席することによってもっともよく伸展させることができるのである。
2. 彼の属する職業界にロータリーを代表することを承諾したロータリアンは、例会に常に出席することによってのみ、その職業に従う人々に持ち帰るべきロータリーからの土産を得ることができるのである。
3. 充分知識のあるロータリアンになるためには、例会に出席してクラブのプログラムやその活動からロータリーについて学んでこそなり得るのであり、またクラブにおいて活動する一会員となることによって完全に同化されるのである。ロータリーにおいて活動することによってのみ、その特典を受け得るのである。
4. ゴルファーはリンクスで、ボウリングはアリーで、テニスはコートでそれぞれ球を追うことを練習するのである。これと同じくロータリアンがロータリーを習うべき場所は例会においてなのである。
5. ロータリーとは人々が集まり、各自の品を他の人々と交換して、その経験をさらに豊かにするところの宝を持ち帰る一つの市場である。したがって例会へは各自の商品である友情、親睦、微笑及び挨拶を持って出席し、逢う人ごとにこれらを提供し、その代わりとして、必ず到着した時よりも多くの精神的利益を得て帰途につくに定まったものである。したがって例会に出席しない人はこの有利な交換の機会を失うことになるのである。

ロータリーの奉仕哲学は「利己と利他の心」をたくみに調和させる哲学です。ロータリークラブが職業人の集団である以上、会員の事業の安定と発展なしにはロータリー運動を維持することはできません。ロータリアンの事業の安定を図る方策は、物質的互惠から精神的互惠を経て、職業奉仕の実践に移行し現在にいたりました。奉仕哲学を探究しつつ、永年のロータリー活動を通じて蓄積された膨大な情報こそ、ロータリアンの事業を発展させ、企業経営に健全に導く貴重な情報ともいえるでしょう。

善意に満ちたロータリアンが毎週1回集う例会は、あらゆる職業情報の交換の場でもあります。一業一会員の原則で同業者は排除されていますから、どんな深刻な問題でも機密事項でも、他に漏洩したり本人の不利になることなく、皆が真剣に相談相手になってくれるはずで、その前提になるものこそ、ロータリーの友情なのです。

例会で学んだ奉仕の理念を、自分の職場に活かすとともに、自分が属する業界に広め、地域社会全体の職業モラルを高めることが職業奉仕だと考えれば、例会を休むことは、自分自身はもちろんのこと会員全体に、さらに地域社会の全てに大きな損失を与えることとなります。

第1099回例会 会務報告 幹事 小川 伸治



- 1) 益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま199 收受。
- 2) 国際ロータリー第2650地区京都モーニングロータリークラブより、会報№858～860 收受。
- 3) 旭川市内6ロータリークラブより、会報9月分 收受。
- 4) 旭川市内他ロータリークラブ10月分例会変更通知（追加）  
10月20日（木）旭川東RC 休会 アートホテル旭川
- 5) 日本国際飢餓対策機構より、飢餓対策ニュース№315 收受。
- 6) 西川旭川市長より、「ごみのポイ捨て禁止運動 秋季街頭啓発及びごみ拾い実践活動」への参加・協力に対する礼状 收受。

ゲストスピーチ 旭川信用金庫地域振興部 部長 荒山 恭一 様  
「地域活性化における金融機関の立場」



報告者 広報IT委員 飯塚

今朝は私も、当社の担当支店長であった当時から存じ上げている、旭川信金の荒山さんを講師にお迎えして、金融機関の視点から地域活性化をテーマにお話しいただきました。

荒山恭一さんは現在、旭川信用金庫 地域振興部 部長 としてご活躍中です。地域振興というと諸官庁、自治体など公共機関の責務がまず頭に浮かびますが、それらには公平性という立場が基本にありますから、一定の制約を受けることはやむを得ないと思います。そこに、民間企業ではありながら、実質的には地域経済をはじめ、広く深く地域活動全般に係わっている金融機関の活躍する素地がある、とおっしゃっていました。

具体的にはご自身も、「美瑛カレーうどん」開発、「ふるさと市場」開催、商店街「手打ちそば体験」開催、駅マルシェ開催などの様々な取り組みに係わってこられたそうです。

以下に今朝のご講演のあらまし（スライドで詳しくご説明いただきました）をご紹介します。

\*\*\*\*\*

【我々の取り組み】

<地域の企業ホームドクターとして>

1. 創業支援：地域に事業を生み、育てる
2. ビジネスマッチング支援：域内外で事業者同士をおつなぎする
3. 販路拡大・海外展開支援：地域の「良い物」を域外に発信する
4. 事業継承支援：次魚の引継ぎ・売買をお手伝いし、地域に事業を残していく
5. その他：クラウドファンディング、結婚相談所開設など常に新しいことを考え実践

1の創業支援では、「創業の想い」から段階（フェーズ）を経て実現にいたるまで、すべてのフェーズにおいて支援が可能。

2のビジネスマッチングでは、全国の信用金庫の取引先より、「こんな商品売りたい」「こだわりの商品を仕入れたい」といったビジネスニーズを、ご紹介・仲介するサービスを行っている。

3の販路拡大では、毎年9月の連休に開催される「あさひかわ食べマルシェ」にあわせた「駅マルシェ」を開催し、販路拡大のお手伝いを行っている。平成28年度には出展者数71社、来場者数16万8千人と順調に成果を伸ばしている。

また、アジア最大級の食品専門展示会であるFOODEX JAPAN への出展支援を行うなかで、展示会後に大手スーパーとの年間2千万円にもものぼる受注が獲得できた。これなどは、自分たちが知らずにいる強みに気づかされた事例であり、いうまでもなく域外への発信が重要であることを物語っている。

5のその他では、結婚相談所を11月に開設し、人口減のなか、若者が地元に着してもらう取り組みを行う。

\*\*\*\*\*

結婚相談所の開設運営を金融機関が行う、という点に少々驚かされましたが、地域活性化を重要課題とする旭川信金さんの幅広い取り組みに、一般企業も得意を生かしながら合流して、豊かな地域作りに貢献していきたいと思わせる、素晴らしいお話でした。



**ニコニコボックスご芳志社名簿発表 親睦委員長 木村 和哉 会員**  
28年 10月23日 1099回例会 旭川モーニングロータリークラブ

**竹村 陽子**

荒山様、早朝よりご足労頂きありがとうございます。あとネームを持ち帰ったのがバレましたので・・・。

**河崎 高麗男**

今月の最終ゴルフ例会で優勝させて頂きましたので、ニコニコ有難う御座いました。



**出席報告 井上 会員**

* 本日の出席	第1099回例会	総員	27名
	10月13日	出席	18名
		出席率	66.67%
* 修正出席	第1097回例会	総員	27名
	9月29日	出席	24名
		出席率	88.89%
* ビジター	ございません		
* メークアップ	10月6日	小柳裕子 (旭川東RC)	
	10月6日	木村和哉 (旭川東北RC)	
	10月11日	宮永憲一 (旭川西RC)	



